



信田みつやす した光保県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

銚子漁港、総合漁業基地目指し整備

県庁内「漁港事業委員会」に

プロジェクトチーム立ち上げ

銚子市特集 6月県議会一般質問



本会議場で論陣を張る信田議員

昨年四月に二期目の当選を果たし、県議会農林水産常任委員長の要職を務めてきた銚子市選出の信田光保(した)が、みつやす(県議)は、六月定例県議会一般質問に登壇し、銚子漁港の総合漁業基地を目指した整備方針をはじめとした漁業問題や千葉県全体の物流の姿、道路問題、水産教育の充実策などで堂本知事らの基本姿勢をたどりました。

この中で、信田議員は、燃油の高騰で漁業、水産業は壊滅的打撃を受け、平成十六年当初に比べると約三倍に上昇している一と漁業者の苦境を訴えました。また、六月県議会では所属する常任委員会の選任が行われ、信田議員は実績が買われ、新たに健康福祉常任委員会委員長に就任しました。信田議員の質問を1、2面で特集します。

航路や泊地の浚渫、導流堤の改良などを継続的に実施するとともに、外洋に面した黒生地区については、五千トンクラスの水産物運搬船が利用できるようマ

信田議員 銚子漁港は、燃油高騰の中でも、二年連続日本一の水揚げを記録した。その日本一を誇る銚子漁港を、総合漁業基地として、今後どのような整備に整備していくのか。

農林水産部長 銚子漁港は日本を代表する漁港であり、流通、加工、保管等の機能も充実した総合漁業基地をめざして整備を進めています。

利根川河口に面し、土砂の堆積しやすい川口地区は、漁港機能を維持するため、

信田議員 本年三月に川口・黒生航路開設についてのシミュレーションと防波堤の配置の検討を行い、その結果ができたことと聞か、どのような結果になったのか。

農林水産部長 結果としては、黒生地区の静穏度は現状と同じであり、また、川口外港地区は九十九里方面からの南風による波浪時に静穏度が低下、すなわち波が高くなるため、港内に新たな防波堤の設置が必要とされるなど、課題があらかになつたところです。

そこで、農林水産部内に設置している「漁港事業検討委員会」にプロジェクトチームを立ち上げ、今後、水産物流や市場機能の充実の観点も踏まえ、銚子漁港全体の将来整備のあり方を検討する中で、活用してまいります。

水産加工品30万トン目標

信田議員 平成二十二年水産加工品生産量三十万トンの目標達成に向け、県はどんな対策を講じていくのか。

農林水産部長 平成十八年度の水産量は、国内資源の悪化などにより二十三万トンでした。

県としては、今後①冷凍施設の整備による地元水揚げ魚などの安定的な確保②漁港後背地の有効活用による生産と加工の一体的整備の促進③新製品の開発やブランド化による高付加価値化—などの施策を積極的に推進していきます。

経営改善が進んでいる漁業振興を図るため、漁協による主体的な施設整備等の取り組みができるよう、的確な指導をお願いします。

信田光保県議プロフィール

- 略 歴■
- 昭和38年7月 銚子市生まれ
 - 昭和61年3月 国土館大学政経学部政治学科卒業
 - 平成19年4月 千葉県議会再選
 - 農政審議会委員/健康福祉常任委員会委員長/自民党千葉県連報委員会委員長/水産常任委員会委員長
- 現 職■
- 県議会 健康福祉常任委員会委員長
 - 議会運営委員会委員
 - あり方検討委員会委員
 - 千葉県 土砂採取対策審議会委員
 - 自民党県連 組織委員会(青年部部長)

県政や銚子市のご相談をお気軽にお寄せください……

した光保事務所

〒288-0044 銚子市西芝町13-20 Jビル2F
TEL. 0479 (25) 3284
FAX. 0479 (22) 1816

物流施設、調整区域でも可 開発許可基準の見直しで

市 集 子 特 銚 子

6月県議会一般質問

信田議員 千葉県物流に關しては、成田空港の二千五百メートル滑走路の供用開始が近いことや「物流総合効率化法」が制定されたことなど、新たな状況変化に対応するため、県は今年三月、千葉県物流戦略を策定したが、この趣旨と千葉県が目指す物流の姿をどう考えているのか。

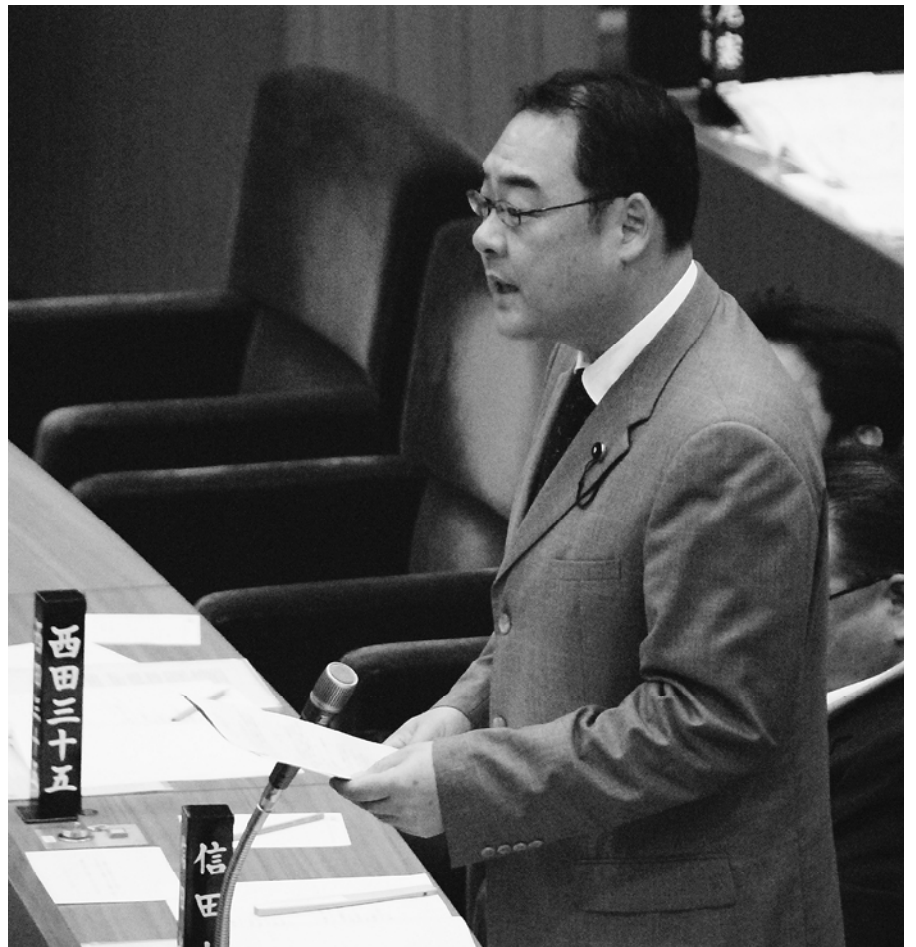
総合企画部長 「千葉県物流戦略」は、国際的、広域的な物流基盤の整備とネットワーク化を図りつつ、本県における物流産業の集積を一層促進し、効率化、高度化を推進していくものです。

信田議員 千葉県が目指す物流の姿としては①成田空港、千葉港のポテンシャルを最大限に生かした「世界の物流センターちば」の形成②物流に携わるすべての人にとつて活動しやすい「魅力ある物流環境」の創造—などを

信田議員 市街化調整区域の開発許可基準に「物流総合効率化法」に基づく施設を追加し、インターチェンジから五キロ区域内で適用すべきと考えるがどうか。

産業として、観光とともに、物流を位置づける必要があると思えます。成田と羽田のアクセスの中で、また千葉港や銚子港などの港も多くあるので、物流を新しい形で考え直していく時期にきていると思えます。

信田議員 千葉県が他県との競争に勝ち抜くためには、物流は千葉県の経済発展に欠かすことのできないものであり、積極的な事業展開を期待する。



県議会の自席から再質問する信田光保県議

水産教育の灯を消すな

信田議員 この春、安房水産高校と館山高校が、銚子水産高校と銚子商業高校が統合され、県内では水産高校の単独校がなくなった。安房水産も銚子水産も伝統を誇る専門高校であり、地元水産業界からの強い要望でつくられた歴史がある。三方を海に囲まれた水産県に、一つもないのはおかしいし、水産教育の灯を消してほしくない。どう水産教育を充実させていくのか。

教育長 新しい時代に対応した魅力ある高校づくりの一貫として、今後の水産教育については、これからの水産業の基礎をしっかりと学び、食品加工、流通、海洋環境、船舶資格取得など幅広い学習ができるよう、銚子商業高校等に多様なコースを持った「海洋科」を設置しました。

また、平成十八年度にIT化された実習船「千潮丸」を新たに建造し、ハワイ沖で漁業実習を行うなど、海洋について学ぶ学校で共同利用しながら、近代的、実践的な技術を習得する機会を充実させていくところではあります。

「海洋科」の特徴を十分生かすとともに、地域に根ざし、時代の変化に対応してまいります。

旧水産高校校舎でこからも水産実習ができるよう、教育機能をそのまま維持しながら、水産教育、海洋教育が進められ、そのための実習等が必要な人的配置を要望する。



福岡県の水産市場を視察する信田県議(左)

八木拡幅、用地買収に着手

信田議員 国道126号の銚子市八木拡幅の進捗状況と今後の進め方はどうか。

県土整備部長 国道126号の銚子市八木拡幅、延長五・七キロの整備については、平成十八年度に事業化し、このうち西側約三キロのバイパス区間を優先的に進めることとしています。これまでに調査・設計及び用地測量などを実施し、今年度から用地買収に本格的に取り掛かることとしており、引き続き、地元地権者の皆様や関係機関などの理解と協力を得ながら、事業推進に努めてまいります。

財源不足への懸念を表明

6月定例県議会で最大会派の自民党からは皆川輝夫議員(鎌ヶ谷市選出、四期目)が代表質問に登壇しました。皆川議員は、財政問題を第一に取り上げ、本年度は当初予算段階でも百四十五億円もの財源不足のうえ、原油価格の高騰や幅広い物価の値上がりで日本経済に暗い影を落としているなかで、今後予定した税収さえ確保できないのではないかと懸念から厳しい財政運営を質しました。また、羽田空港の国際化問題での知事の姿勢を厳しく質すとともに、成田新高速鉄道の開通に伴う北総鉄道との運賃格差問題や特急待ちによる利便性の低下などを指摘し、県当局の取り組みを求めました。

県政に新風を

銚子市民の生活視点で提言

しだ光保県議